



日本一人口の多い村 よみたんそん

68号 2016年12月
定例議会

平成28年12月末現在
(人口41,394人)

議会だより

題字：真榮田 まえだ あかり 朱莉 (古堅南小学校2年生)



題字を書いてみて
たくさんの人に、わ
たしの字をみてほし
くて、いつしようけん
めい書きました。「議
会」というかん字がむず
かしかったので、何度
もれんしゅうしました。



沖縄県中学生女子ソフトボール1年生大会 優勝

平成29年2月5日 (読谷中学校女子ソフトボール部)

第50回 沖縄県女子中学生
新人ソフトボール大会

準優勝

(読谷中学校女子ソフトボール部)

第27回九州中学生選抜
男女ソフトボール佐賀大会出場決定!!

(3月18日・19日)

主な目次

◎一般質問……………P6～15



みなさん応援よろしくお願いします!

平成28年 第454回臨時会・第455回12月定例会報告

会期	第454回 臨時議会	平成28年11月14日
	第455回12月定例議会	平成28年12月6日～15日

一般会計補正予算

7億2,960万3千円を追加し、

総額 160億5,346万円に!!

主な歳出予算

- 経済対策臨時福祉給付金給付事業
- 園芸ブランド機械整備事業
- 小学校施設管理運営事業

平成28年 第454回 臨時会 議決結果

件名	議決結果
読谷村一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
旧読谷村教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
平成28年度読谷村一般会計補正予算(第5号)	原案可決
平成28年度読谷村診療所特別会計補正予算(第1号)	原案可決
平成28年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
平成28年度読谷村下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
平成28年度読谷村水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
物品供給(学校給食調理場給食配送車両購入事業)契約について	可決

意見書・抗議決議

「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化の早期実現を求める意見書

第455回

可決

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

第455回

可決

子ども医療費助成への「罰則」廃止と国の制度化を求める意見書

第455回

可決

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書

第455回

可決

「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書

第455回

可決

米海兵隊の垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイ墜落事故に対する抗議決議・意見書

第455回

可決

委員会の動き

総務常任委員会

- ・読谷村地域防災計画についての調査

文教厚生常任委員会

- ・村内の介護サービス事業所の現状調査

建設経済常任委員会

- ・勝連城跡・今帰仁城跡の観光振興としての状況調査





2017年キャンプ予定一覧表



2017.1.5現在（日付け順）

※ B P = ボールパーク

1 月

- 1.19～2.3（読谷村陸上競技場）◆プロサッカー（J1） サガン鳥栖 5回目
- 1.25～2.3（残波岬B P） ◆プロサッカー（J1） ヴィッセル神戸 3回目
- 1.30～2.12（村運動広場） ◆ソフトボール 日立女子ソフトボール 2回目

2 月

- 2.1～2.28（平和の森球場） ◆プロ野球 中日ドラゴンズ（2軍） 21回目
- 2.5（村運動広場） ◆プロ野球 中日ドラゴンズ野球教室
- ◆ソフトボール 日立女子ソフトボール教室
- 2.12（村運動広場） ◆ソフトボール 日立対豊田自動織機女子ソフトボール練習試合
- 2.12～2.24（村運動広場） ◆ソフトボール 豊田自動織機ソフトボール 3回目
- 2.20～2.25（残波B P） ◆ラグビー 男子7人制ラグビー日本代表（調整中）
- 2.27～3.4（読谷村陸上競技場） ◆陸上競技 陸上・パラ陸上7回目

3 月

- 3.1～3.10（平和の森球場） ◆大学軟式野球 富士大学硬式野球部 8回目
- 3.1～3.14（村運動広場） ◆ソフトボール ビッグカメラ高崎女子ソフトボール初
- 3.9～3.14（読谷村陸上競技場） ◆陸上競技 大阪体育大学陸上競技部 5回目
- 3.10～3.17（平和の森球場） ◆大学軟式野球 東邦大学軟式野球部 4回目
- 3.23～3.26（平和の森球場） ◆高校野球 初芝橋本高校野球部 3回目
- 3.23～4.1（残波岬B P） ◆ラグビー 女子7人制ラグビー日本代表 4回目

4 月

- 4.30～5.7（残波B P） ◆ラグビー 男子7人制ラグビー日本代表 2回目

5 月

- H29.5.10～5.20（残波岬B P） ◆ラグビー 豊田自動織機ラグビー部 4回目



キャンプ中子ども達と交流するサガン鳥栖のメンバー（サッカー）

歓迎セレモニーで抱負を語る小笠原二軍監督

大会の受入予定一覧表

- 女子7人制ラグビー国際大会 H29.2.18～2.19（残波岬B P）
- 九州惑大会（ラグビー） H29.3.4～3.5（残波岬B P、陸上競技場）
- 第20回ちゅーばーリーグ（ソフトボール） H29.3.18～3.19（村運動広場、多目的広場）

Q 村政を問う!! 一般質問



上地 榮

学力向上対策は着実に向上しているが、課題あり

問 全国学力テスト(平成28年度)の結果と対策は

答 小学校においては、県の平均正答率60に対し本村は62で県平均を上回っているが、中学校においては県の平均正答率54に対し本村は59で下回っている。対策として引き続き学習及び生活規律も整えながら朝の学習や補習指導等を継続的に取り組む。

古堅給油所前の交通渋滞の早急な解決を望む

問 当該交差点においては、渡具知方面から大湾向けの直進車輛が多く、右折車輛と衝突の危険がある。そこで県道16号線大湾方面から

渡具知向けの車輛で右折帯と右折信号機が設置出来る様取り組めないか
答 渋滞路線として認識している。県としては国道バイパスの計画状況を注視している。

村総合福祉センター前の駐車場トイレの改善



悪臭がひどい駐車場トイレ

問 当該トイレは、築36年が経過しており悪臭がひどい。維持管理はどうなっているか
答 元気サポートよみたんと委託契約書を交わし、週2回以上清掃をしている。また、浄化槽検査や保守点検をしている。悪臭の連絡があった時は業者と一緒に現場で立会いをし対応している。

小中学校の教職員の労働実態の改善

問 読谷中学校のタイムカードの導入の理由と超過勤務時間は何時間で、手当が支給されているか
答 タイムカードは職員の健康管理と勤務実態把握のため導入した。時間外勤務は10月に約50時間となっている。時間外勤務手当は県条例により支給されていない。

問 隣の運動広場の利用人数は、平成26年、平成27年とも約2万5千人おり、当該トイレの改築の計画は
答 運動施設ゾーン整備計画の中で改築する。

問 村内の他の小中学校の職員の時間外勤務は把握しているか
答 現在は把握していない。把握していないのは労基

問 把握してないのは労基

法に違反していないか。

答 県の方でもその事が課題となり、実態把握の調査をしている。

空き屋対策はようになってくるのか

答 沖縄県住宅課と情報交換を行い、民間住宅借り上げについて検討していく。

本村の観光振興は

答 主にはよみたん体験型観光の振興、観光施設等の整備、観光地づくりを支える活動の拡充となっている。

問 輪島市の朝市と「あぜのきらめき」を参考にした観光施策の取り組みはできないか
答 朝市については村振興センターで実現できるか協議会で検討する。また、「あぜのきらめき」のライトアップについては座喜味城のライトアップだけではなく、全般的な活用について観光協会と意見交換をしていく。

問 協会と意見交換をしていく。



長濱 宗則

就学支援から

問 読谷村における小中学校の要保護、準要保護の対象児童数は
答 平成28年9月5日現在、要保護小学校32名、中学校23名、準要保護、小学校30名、中学校17名。

公立保育所の民営化から

問 公立保育所の使命とは
答 児童福祉法により、市町村は保護者の労働又は疾病その他の事由により、その監護すべき乳児、幼児その他児童について保育を必要とする場合において保育しなければならない。

問 読谷村の保育所民営化計画の有無
答 3村立保育所の正規職員3割、県の指導は6割が適切であり、対応しきれない、北保育所の老朽化の建て替え費用3億円

再問 公立保育所の2園を民営化に移行の検討する考えはないか
答 一つの課題として読谷村立保育所、幼稚園の整備及び運営に関する検討委員会で議論をしていく

問 準要保護の認定基準と援助費用は
答 ①生活保護法に基づく保護の停止又は廃止、②市町村税の非課税、③生活状態が極めて悪い、④経済的理由で欠席数が多い。援助費用は「新入学用品費」「学用品」「通学用品」「学校給食費」「郊外活動費」「修学旅行費」等

問 読谷村の就学支援が県平均の20.9%より低い10.5%と低いその見解は
答 就学援助の対象となるにも申請を行っていない対象者いると考える、潜在的な対象者に周知が課題である。途中申請も受け付ける

子ども支援対策事業から



問 読谷村の進捗状況は
答 平成28年4月1日より、子どもの貧困対策支援員1名配置し調整、相談業務を行っている。居場所の運営支援では平成28年7月に一般社団法人「うちなーからはい」業務委託、事業実施している。

読谷村地域振興センターから

問 チャレンジブースに応募が少ない理由は
答 施設見学の際、施設に

問 読谷村独自の貧困調査の予定は
答 調査を実地している市町村の状況を確認しながら今後検討する。

社会教育団体から

問 読谷村婦人会、青年団協議会、子ども育成連絡協議会、PTA連合会の組織の課題と支援の取り組みは
答 会員の減少と、会運営の弱体化である。

支援の取り組みは、年2回、社会教育団体の合同ミーティングや合同研修会を開催している。

問 研修等で定期された課題を担当課と各団体で課題解決に向けて精査すべきと思うが
答 会運営に精一杯で不安



出店者募集中のチャレンジブース



仲宗根盛良

第5次読谷村総合計画基本構想の策定を伺う

問 次の基本構想にいかすべき課題は何か
答 整理の途中であり、平成29年度の早い段階に課題の分析結果を出したい。

問 作業日程は遅れていないか。又、策定手法を伺う
答 業務開始が遅れており、課題等を早目に整理し、村民参加の手法としてアンケートやワークショップ、SNSなどの活用を含め検討を進める。

問 議会での議決事項として提案すべきと思うが、どうか
答 総合計画基本構想は本村の方針を定める重要な事案であり、議会の関わり方について検討する。

問 よみたん斎苑隣りへの公営墓地計画の進捗はどうなっているのか
答 平成24年1月に策定された報告書を参考に、現状との整合性等を勘案して、これから進めていく。

問 規模と概要及び完成予定はいつか
答 施設規模460㎡、お墓の面積が15㎡で169基、駐車台数98台を予定している。

問 墓地基本条例の制定計画はどうなっているか
答 スプロール化を抑制する為にも早目の制定をめざしていく。

公営墓地計画の進捗状況は

問 過去2年の実績と対象年齢の引き上げはできないか
答 平成26年度が385万円、平成27年度336万円となり、年齢の引き上げは難しい。

問 星野リゾートによるホテル建設予定概要を求める。
答 8棟で客室100、レストラン、プール、カフェなどヴィラタイプとなっている。

村内への新ホテル建設の報道内容を伺う

問 同大学と「包括連携協定書」が締結されており、その内容と村の人材育成手法の説明を求めます
答 4名程度を推薦し、授業料の半額を4年間給付していく内容で、卒業後、読谷村へ戻れる仕組みを作ることで、将来を担う人材の

問 残波岬ロイヤルホテル入口と残波ビーチ東の村道上で白線が消え歩行に危険であり、改善を求める
答 公安委員会と早急な対応ができるよう協議をする。

読谷村と愛知東邦大学との協定内容とは

問 同大学と「包括連携協定書」が締結されており、その内容と村の人材育成手法の説明を求めます
答 4名程度を推薦し、授業料の半額を4年間給付していく内容で、卒業後、読谷村へ戻れる仕組みを作ることで、将来を担う人材の



残波ビーチ東の横断歩道の風景

横断歩道の白線を早期に対応すべきこと!

すると、自己負担分の現金支払いの必要がない方法で平成29年度から開始予定。
問 過去2年の実績と対象年齢の引き上げはできないか
答 平成26年度が385万円、平成27年度336万円となり、年齢の引き上げは難しい。

問 星野リゾートによるホテル建設予定概要を求める。
答 8棟で客室100、レストラン、プール、カフェなどヴィラタイプとなっている。

問 同大学と「包括連携協定書」が締結されており、その内容と村の人材育成手法の説明を求めます
答 4名程度を推薦し、授業料の半額を4年間給付していく内容で、卒業後、読谷村へ戻れる仕組みを作ることで、将来を担う人材の

問 残波岬ロイヤルホテル入口と残波ビーチ東の村道上で白線が消え歩行に危険であり、改善を求める
答 公安委員会と早急な対応ができるよう協議をする。

読谷村と愛知東邦大学との協定内容とは

問 同大学と「包括連携協定書」が締結されており、その内容と村の人材育成手法の説明を求めます
答 4名程度を推薦し、授業料の半額を4年間給付していく内容で、卒業後、読谷村へ戻れる仕組みを作ることで、将来を担う人材の



残波ビーチ東の横断歩道の風景



新垣 修幸

日本一人口の多い村として福祉事務所の設置は

答 都道府県及び市は設置が義務付けられている。町村は任意で設置、貴重な御提言として受けとめ、設置町村の事例や事業内容等の調査研究を行う。

問 県下の町村で設置件数は
答 町村では無い

問 先進県は広島、続いて島根、島根県の海士町に人口400人で設置している。調査研究して後に設置する考えか伺う
答 今後どのような形でやっっていくか色々調査をさせて頂きたい。

問 村単独で設置した場合権限も移行拡大し村民福祉

向上につながる。設置すべき
答 財政的課題もありいかような措置ができるか含めて検討させて頂きたい。

問 島根県においては町村
答 島根県においては町村会長から県知事に対して覚書が提出されている。財政的に何か憂慮する事態が発生した場合県の方で配慮をして頂いたという覚書が締結されている。県の方にも具申するなり調査研究をして頂たい

問 県町村会、中部町村会
答 県町村会、中部町村会とか組織体の中で一緒にやって覚書等の要請行動ができないか検討する。

問 全国の町村で設置件数は
答 43件

問 設置するには社会福祉士の資格者が必要。現在の福祉課に何名の資格者
答 7名

問 県の町村会としても一つのテーマとして取り上げて頂きたい。村長の考えを

挙げて検討していきたい。

施政方針に掲げている六次産業と読谷ブランド化の進捗状況を伺う

答 養豚農家が加工品を開発野菜農家がパイアヤを乾燥加工して商品化している。徐々にではあるが増えてきている。読谷ブランド化の進捗状況は現在14品目が読谷ブランドとして認定

問 六次産業まで移行した件数は
答 認定を受けているのは一件

問 方針を上げてから何年
答 二年

問 六次産業でやっていく品目は

六次産業でやっていく品目は

答 ニンジン、トーマーミその辺を活用して商品化まで考えている。

問 目標値は
答 明確な数値は今のところ無い

問 担当部署とし目標値をもつべき、六次産業について研究グループ組織体をつくっては
答 地域振興センターで協議会が設置されている六次産業を含めてできると考える。

問 休憩所のような、東屋を整備出来ないか
答 地域の意見も参考に検討したい。

問 トイレ横の小路は、刈り取った雑草除去のため軽トラが通れるよう改修出来ないか
答 改良を行い、管理車両の通行改善を図りたい。

問 当公園は広い平地があり、手持ち草刈り機では時間がかかる。自走式草刈り機を導入出来ないか
答 自治会の意見も確認して対応したい。

問 公園入口の石碑を大きく出来ないか
答 検討したい。



農作物を加工し販売促進を!

喜名観音堂公園



比嘉 幸雄

共同販売センター・18番市

問 旧農産物販売所・ユンタンザ18番市の今後の活用
答 キノコ類の栽培実証試験を予定している

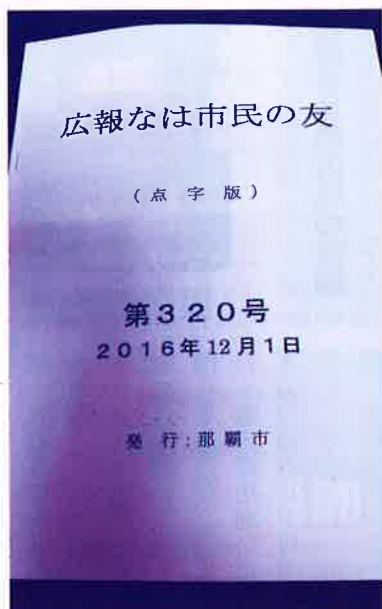
問 18番市前国道58号植栽帯を活用し、駐車場を整備出来ないか
答 国専事務所に確認した処交通安全上、問題があるとのこと。

県外政務活動・視察より

問 獲れすぎた魚は価格も暴落する。対策は
答 漁協が買い取ることで暴落を防いでいる

問 規格外や採れすぎた農作物、売れ残った農作物の対策は
答 冷凍保存するカット野菜工場及びケータリング施設の整備を進めている。

問 儲かる農水産業を実現し、



点字翻訳された広報紙面

雇用の確保と所得の向上を図る6次産業を研究する構想は

答 関係機関にも協力を仰ぎ調査研究したい

翻訳している。

問 幾らの翻訳料がかかるか
答 年間で20万円余りとなっている。

広報よみたんについて

問 広報誌を点字翻訳出来ないか

答 視覚障害者の方々からのニーズ調査を行い、検討する。

問 音声サービスについて説明を求める

答 広報誌を音声し、テープCDに録音して障害者の方へ提供している。

問 県内で点字翻訳している市町村は

答 西原町で広報誌の主要なページを指定して、点字

問 これぐらいの投資は必要と思うが鳳バスも福祉バスという意味合いで走っている。福祉はサービスと思う部長の考えを伺う

答 弱者の皆さんも、健康な方も社会生活ができるような体制をとりたい。

問 今年の施政方針で障害者福祉については障害者も障害のない者と等しく安心して生活できるように支援していくとある。村長一言

答 より一層努力していきたい。



山城 正輝

旧飛行場跡ダイオキシン問題↓責任、費用問題について進展せず、特別チーム設置は、予算時に考える

問 県が調査した汚染源周辺の結果はどうだったか

答 土壌調査では不検出。ダイオキシン類については基準値を下回っていた。数字は8から15ppm程度(ピコグラム)

問 25種類もの調査されているが後日資料を出して頂きたい

答 県の方に情報公開請求を使って請求して頂きたい。

は現在の所考えてない。
問 ダイオキシン特別チームというのは内部会議ということか
答 専門家の意見を聞きながら措置を講じていきたい。



ダイオキシン覆い、コンクリート工事 1,900万円責任はどこに

陸上競技場玄関への道路↓簡易舗装、前田地区内↓地主意向把握し検討

問 ①村道座喜味12号線から玄関までの道路舗装、②玄関前駐車広場の整備、③前田地区内農道の舗装、④事務所電話の子ども達への開放を考えるべきこと

答 玄関へは、次年度以降簡易舗装を検討。②仮設駐車場の整備を検討。③地主の意向を把握して検討。④事務所には電話はない。N.T.Tとももう一度話してみたい。

急性期病院↓急救対応病院であり、場所は防災拠点広場以外も含めて考えたい

問 急性期病院は、村民待望の総合病院か。総合病院とは、内科、外科、産婦人科、眼、耳鼻咽喉科の5科があるということだが

答 現段階では、循環器系、呼吸器科、消化器科、外科、

整形外科の5つを計画していると受取っている。

態度が試されてくると思う
答 次年度予算要求では、基地問題が滞っていても3千億円以上が要求されているから「リンクはしてない」と考える。政府はリンクすると発言している。新たな基地建設は振興に資するものではないのでリンクすべきものではない。

横田自治会汚水施設、下水道事業問題↓現地点は、早期実現は困難だが、流域下水道に位置づけされており、自治会の要望解決できるように努めたい

問 村の下水道人口普及率は23%で、国75%、県70%、より遅れている優先的に取り組むべきだ

答 現地点の目標は平成40年

座喜味入原河川工事↓次年度完了予定

村長の「次年度予算と基地はリンクしない。」認識は、基地容認にならないか

問 金さえもらえば基地を認めてもよいという雰囲気が出てくるのを危惧する。今後の基地に対する村長の

国や県に負担を求めること

答 村単独で実施したので

問 今回のコンクリート覆土工事費用は、国、県に掛け合うべきだと思うがどうか

答 村単独で実施したので国や県に負担を求めること



與那覇徳雄

牧原多目的広場の整備

問 牧原多目的広場の整備の進捗はどうかっているか
答 平成29年度整備の実現に向けた調査業務を実施できている。関係機関と調整している。
問 事業開始の目途が立ったと認識しているか
答 事業開始ではなく調査業務を行う。
問 牧原多目的広場の計画概要を伺う
答 規模や概要は、調査業務の中で整理具体化する。
問 何年目途にしているか
答 具体的な目途はできていない。前提条件等をクリアして基本設計に入る。
問 関係機関との調整は
答 調査業務を平成29年度沖縄県対米請求権協会の予算で調整している。

犬・猫を飼っている皆様へ

犬猫の放し飼いによる苦情が大変多いです。特にフン被害の苦情が後を絶ちません。あなたは正しく犬猫を飼っていますか。

次のことを絶対守ってください。

犬について

- ★ 犬は必ずついで飼いましょう。もちろん散歩も忘れずに!
- ★ 無駄吠えなど近所に迷惑ならないように、しつけをしましょう。
- ★ 狂犬病予防注射と登録は必ず受けなければなりません。
- ★ 子犬を希望しない方は避妊・去勢手術を受けさせましょう。

猫について

- ★ 猫は室内飼育に努めましょう。
- ★ 名札等をして所有者を明らかにしましょう。
- ★ 専用のトイレを用意し、必ず家でさせる習慣をつけさせましょう。
- ★ 子猫が生まれて、飼えない・もらい先がない・と悩む前に避妊・去勢手術を受けさせましょう。

お隣近所に迷惑がからまないよう責任を持って飼いましょう。

皆さんの協力で住みよい環境をつくりましょう。

ノラ猫・ノラ犬について

問 牧原多目的広場への進入口は
答 ゴルフ場ゲート手前、約50m左側になる。
問 進入道路の整備は
答 進入路用地が企業用地である、取得して村で整備を考えている。
問 牧原自治会との協議は
答 調査業務を実施する中で、自治会や自治会員の意向調査を行う予定。
問 チェン御嶽の写真・解説版等の設置を関係者と協議したかどうか
答 調査業務で具体化できると考える。
問 村内のノラ猫・ノラ犬の苦情は何件あったか
答 平成27年度猫・犬に関する苦情は17件、内訳猫12件・犬65件。
問 苦情の主なものは
答 猫・犬ともふんによる被害が多い。犬は危険性から27年度捕獲・保護13件実施。
問 ノラ猫・ノラ犬を増やさない対策として、注意喚起を行う必要があるか
答 全世帯に広報よみたんで周知。苦情があった場合は近隣世帯へ猫・犬の飼いやチラシを配布して対応。
問 村内のイベント等で猫・犬の正しい飼育方法の講習会や譲渡会を率先して奨励したかどうか
答 FMよみたんが殺処分ゼロを目指して活動を行っている。全村的に殺処分を減らせるよう協力する。

陸上競技場及び運動広場の整備

問 陸上競技場にサッカーベンチが設置できないか
答 チーム関係者から要望・助言を頂き、村民も利用できる備品等の環境整備を考えていきたい。

問 今後の環境整備計画は
答 次年度、トレーニング機器の購入を計画している。
問 陸上競技場に大型電気時計が設置できないか
答 スタンド下にある時計を前方に設置する方向。

問 運動広場に移動可能な車輪・屋根付きのパーゴラ、ベンチが整備できないか
答 検討してみたい。



當間 良史

外国人観光客の事故が多発!

問 年間167万人の外国人観光客が沖縄県に訪れており、年々増加傾向にある中、本村における昨年度の入域外国人観光客数は
答 入域外国人観光客は把握できないが、村内6カ所のホテルの外国人宿泊数は7万7千909人となっており増加傾向にある。

問 本村役所にも多くの外国の方が来庁されているが、窓口での対応はどの様に行っているか
答 窓口を訪れる外国人のほとんどが沖縄で挙式と婚姻届けされるリーガルウェディングのお客様で今年度141件の利用があり、そのほとんどが香港の方である。窓口での対応はウエイディング業者が通訳として同行しており不便なく対応している。

問 レンタカーによる一方通行の逆走が多くみられているが村は認識しているか
答 一方通行逆走は座喜味城址周辺が多くあると確認している、また喜名の方でもあると聞いている。対応としては外国語を表記した看板等で注意喚起を行っている。

年々増加している。

問 増加傾向にある外国人観光客の事故が増えているようだが、事故件数と違反件数は
答 嘉手納警察署によると、外国人観光客に限定した統計は無いが、レンタカーの事故の中でも外国人観光客が占める割合が非常に多く

農業政策を問う

問 村内の農地面積と認定農家数は

答 農地面積は1、386ヘクタール(45万坪) 認定農家数は14経営団体となっている。

問 県や国からの補助金額と事業内容は

答 27年度予算では、さとうきび農業機械等リース支援事業(ハーベスター) 2566万円、青年就農給付金事業375万円、一括交付金で優良母牛導入事業補助金786万円、地産地消を図る生産施設設置補助金1132万円となっている。

ふるさと納税の成果は

問 6月よりスタートしているが、これまでの件数と寄附額は

答 11月末時点で503件の1339万円となっている。

年度末に向けさらに増える。

問 今後、返礼品をどの様に選定し、何品くらいにするのか

答 業務委託しているFMYみたんとともに現在100品を超える返礼品を用意している。現在検討中の返礼品も含め今後増えていく。



ふるさと納税で村おこし!



津波古菊江

ごみ減量化について

問 読谷村の総排出量、一人当たりの排出量、資源ごみの総排出量とリサイクル率(ビン、缶、ペットボトル、古紙)の過去3年間の実績について伺う

答 総排出量H25年度13,186t、H26年度13,703t、H27年度13,877t、1人当たりの排出量はH25年度322kg、H26年度344kg、H27年度302kg、資源ごみの総排出量は、H25年度1,633t(12.9%ビン382t、缶275t、pt.B115t、古紙248t、H26年度1,829t、14%、ビン379t、缶292t、pt.B135t、古紙232t、H27年度1,979t、15.1%、ビン409t、缶287t、pt.B135t、古紙225t未満。

問 H25年度より69tで52%の増個人で19kg、59%増

資源ごみは346t増の21%、ビン30t増の要因について

答 焼却した残渣は減少している。ビンについては選別していない。リサイクル率アップの為に古紙の分別ビンの水洗い等の村民の協力が必要である。

問 指定ごみ袋をU字型袋に変更出来ないか

答 利便性と費用対効果を含めて検討したい。

問 地球、環境、人にやさしい、ごみ減量についての見解を伺う



ゴミ減量のために 分別の徹底を!

答 分別の徹底と草木資源化施設の有効活用等ごみ減量を実現して継続がする事、また村民のごみ減量の活動の継続が成果を得ると考える。

健康遊具の公園内設置を

問 全国的に急増している公園内に設置されている健康遊具の活用で高齢者の介護予防に繋げないか伺う。

答 セーラの森公園と伊良皆地区運動広場に設置してあり又赤犬子展望広場やロードパークへの整備を予定、要望があれば健康増進センターから運動指導士の現場活用も可能であり検討していく。

外食産業へのカロリー表示メニューの提供について

問 村内の外食産業(食堂、居酒屋)(カロリー表示のメニューや低糖質メニューを提供する事で健康づくりの推進につなげてはどうか、

また村職の栄養士や食改業者の三者でメニュー開発等は出来ないか

答 過去にもカロリー表示をお願いしたが、材料の仕入れ状況でメニューの変動があり継続出来なかった。他市町村の情報収集や調査研究し出来る事から始める。

沖縄子ども貧困緊急対策事業について

問 読谷村における子どもの居場所の運営支援の内容は事業の対象者、開催場所、回数は何回か、支援員の配置人数と支援体制、対象児童生徒の交通手段は

答 大木在のJIIキッズにて週3回(火木土)PM4時~PM7時半で近郊は徒歩で読小校区は送迎があり、10人の小中学生が活用している。支援員は1人で、学生ボランティアの大学生も派遣されている。今後読谷中校区内に早目に設置したい。



伊佐 眞武

座喜味城の環境整備

問 城跡内の歩道整備や、ベンチの設置、高齢者や障がい者が安全に入れる様な対策はないか。また城跡上部に太陽光発電を使った夜間照明ができないか

答 国指定史跡座喜味城跡における新たな歩道整備やベンチ、スロープ、手すり、夜間照明などの設置可否については、史跡の本質的価値の保存に影響を与える事から、文化庁との調整が必要となり、今後予定している専門家を交えた保存管理計画策定会議において検討すべき内容かと考えている。

読谷山花織とヤチムンの振興について

問 村内のホテルや飲食店及び民泊施設で使用する器類やテーブルクロス、のれん等に、本村のヤチムンや読谷山花織がより多く使われるよう、石川県輪島市の様な補助制度をつくってはどうか

答 現在、村内でつくられている工芸品については、一括交付金を活用し支援している。新たな補助制度については今後調査研究していきたい。

あいさつ運動と同様に学力向上推進協議会の取り組み事項として検討したい。

問 帰宅放送について、教育的な観点から、意義、効果等はどうか、教育長の見解を伺う

答 各地域で子供達を激励してあげるというのは、大変教育的意義があるかと思う。地域の子は地域で育てるというのがまさしくそれだし、愛の声かけ運動というものも一つの方法だ。人間は人間の育て育つと言われている。帰宅放送は効果的だが、各自治会にお願いするには施設面も含めて課題もあると思うので、私達はやるのは一斉放送かと思っている。そこから先に進められたらと考える。

児童・生徒の生活リズム及び安全確保

問 夕方、外で過している児童・生徒に帰宅時間を知らせる定時の放送を流してはどうか伺う

答 帰宅放送については関係課と調整した上で、朝の

庁舎前の中庭について

問 役場に来る村民がひと休みできるように歩道やベンチ、花壇等を設置してはどうか。

また、村民が庁舎前中庭に自由に入つていいのかどうか、庁舎管理規則上はどうなっているか

答 団体とか特定のところに貸すことはないが個人で自由に使う分には問題ないので芝生広場を自由に使ってもよく、移動可能なベンチの設置は検討していきたい。



憩いのベンチ設置を！



國吉 雅和

旧読谷飛行場用地所有権回復について田島副村長に問う

答 平成17年3月の「跡地利用実施計画」で村が買い受けた農地を旧地主関係者等で組織する農業生産法人に貸し付け、売り渡し、この法人が跡地利用を推進する中で集团的に解決を図ると、平成17年6月の「読谷飛行場用地所有権回復地主会総会」で決議されている。今日、営農基盤の整備が完了しつつあり、農業生産法人（平成28年4月農地所有適格法人呼称変更）への貸し付けの段階に入る。

問 これまでの総事業費を求め

答 総事業費として約96億8千万円。

問 5農地所有適格法人の生産額は

答 6〜7億円が見込める。

問 所有権回復に向け旧地主に求めることは

答 旧地主の承継人を定めて、農地所有適格法人に参加することがまず必要と考える。

問 法人の運営強化への支援は

答 県と役場が読谷中部地区に限定したプロジェクトチームをつくり、技術指導・経営指導等を行い売り渡しできるまでの収益確保を目差す。

問 副村長の選任理由のひとつである読谷飛行場の進捗への見解を求め

答 飛行場問題は所有権の帰属で始まっているが、広い意味で戦争が招いた災禍であるが、そのものだけを解決するということ以外に、将来の読谷村をつくっていく非常に重要な事業。あわせて所有権の帰属問題も含めて解決していくと考えている。

「おたふくかぜワクチン」と「インフルエンザワクチン」への公費助成を求める

13 認可外保育園の負担軽減を求める

問 職員への人件費補助と保育提供面積分の固定資産税の免除を求める

答 現在、認可外保育施設への助成は国・県・村で12種の補助等を行っている。人件費補助と固定資産税の免除につきましては、沖縄県と連携の上調査を行っていきます。

提言 認可外保育園の質の維持のためにも行政の施策としての展開を求める。



実施計画の進捗は

答 おたふくかぜワクチンについては、行政措置にて接種できるよう、調査しながら検討しているところ。小児のインフルエンザ予防接種は、集団接種が義務だった時代から、個人の意思を尊重する動きが出てきたことにより、任意接種の位置づけとなっている。

B型肝炎の定期接種の対象者への周知

答 10月からの定期接種開始を前に対象者へは早めの接種を呼びかける案内を送付し、出生時や乳児健診等でも個別に説明を行い、接種期間の短い4月生まれには、10月中旬に電話での接種確認・勧奨を行っている。

都屋漁港内アカター崎整備

答 沖縄県第4次漁港漁場整備長期計画（平成29年～33年）の中で構想計画を策定するため県と調整を図る。



神谷 嘉栄

読谷村の観光振興への取り組み

問 本村の観光産業への基本的な考えを伺う

答 基本理念は、第2次読谷村観光振興計画の中で「豊かな自然環境と多彩な歴史・文化を保全・活用し、村独自の観光資源と地場産業が織りなすよみたん型ツーリズムの確立と、魅力づくりを推進し、よみたん村の観光振興のさらなる飛躍を村民との協働により目指す。」としている。

問 本村への観光客の入域者数を伺う

答 沖縄県観光地点等入込客数調査で、読谷村は平成27年度現在で約20万人となっている。

読谷村の農業振興への取り組み

問 本村の農業生産目標を伺う

答 本村のこれまでの農業生産額は約18億円から19億円の横ばいで推移した。現在、整備中の読谷中部地区での本格的な営農が始まると当地区で6億円から7億円ぐらいの生産額増が見込まれるので、村全体の農業生産の目標額は合計で約25億円までは伸びるのではないかと推測している。また他にも、機械一貫体系の構築や農業技術の向上などの支援強化に取り組んでいることや、瀬名波通信施設跡地での農業基盤整備が予定されるなど、更に優れ農地が増えることの要因があるので今後、目標額である25億円以上の農業生産額を目指して取り組んでいく。

連携を伺う

答 中部農業改良普及センターやJAおきなわなどと農作物ごとに品種の選定や栽培技術指導を行うとともに、農家の経営診断なども実施している。また、紅イモに関しては本村独自にバイオ技術を利用し、いい苗をつくり上げ、平成26年度で400本余り、平成27年度については300本の有料の苗を農家に配布している。さらに農業委員会では県のほうで改良された増産の見込める新品種のRK97・14を植えつけ、それを農家に普及していくという取り組みも進められている。

問 観光資源としての農業の位置付けにも力を入れて支援をしていくべきと思うが、そのことについて村長へ伺う

答 畑から販売まで、観光施設に紅イモが加工品となつて届けられるという6次産業化、また海でとれたものを2次、3次加工をし観



村独自で紅イモのバイオ研究

光施設へ届けるとか、読谷村の特色あるものを連携し基盤整備や役目選定、そして営農指導を読谷村全体で国・県のアドバイスも受けながらやっていきたいと思つている。



新城 昭彦

村道波平線から村道残波線の安全対策は

問 大型排水路の安全対策は、

答 大型排水路の安全対策は、歩行者や車両などの転落を防止する転落防止柵の設置を考えており、現在、工事契約の締結に向けて進めており、工事の完了時期も平成29年3月末を予定している。

問 大型排水路の大きさと設置場所は

答 大型排水路として整備を考えているのが、上空の断面で幅70cm、深さ70cmの排水路として転落防止柵を考えている。設置場所はアリのビラの入り口の点滅信号機から、南側に224メートルの排水路があり、その部分に転落防止柵の設置を考えている。

問 道路の中央線が消えている。早急に線引きが必要と思うが

答 中央線については、追い越しのため右側部分へはみ出し通行禁止の規制表示がある事から、設置者である公安委員会や関係機関と早急な対応が出来ないか協議したい

問 排水路の土砂の撤去と除草作業が早急に必要と思うが

答 排水路の堆積した土砂は年次的に予算の範囲内で対応している、現在、作業着手に向け進めている。除草作業については、年間を通して契約しており、「道路等草刈り委託業務」で作業を終えている。

問 この道路は、直線道路でスピードを出す車両が多い、立て看板の設置と反射板の設置は出来ないか

答 村道波平線、残波線から幹線農道にかけて7枚の看板を設置している。嘉手納警察署によると出会い頭

の事故が多いという事なので、立て看板、反射板等で対応をしている。



危険！村道波平残波線の排水路

読谷まつりについて

問 まつりの創作進行船のイベントは何年になるか

答 創作「進行船」は、昭和60年の第11回読谷まつりから始まり、32年目になる。

問 今年度のまつりの入場者数は

答 今年度の来場者数は、約8万人となっている。

問 まつりの出演団体数と総出演者数は

答 出演団体数70団体、演舞等を行った総出演者数は、2,200名になる。

問 出演団体や自治会等との意見交換は

答 まつり前に出演者等と意見交換会を行っている。

旧読谷診療所医師宿舎の活用方

問 地域福祉相談室が開所しコーヒージャープとがんにじゅくサロンが開設、2つの事業内容は

答 コーヒージャープは、参加者同士が会話を楽しみ、交流を深め出かける意欲を高め、生きがいづくりや仲間をを広げる。がんにじゅくサロンは、高齢者自から主体的に自分の能力に自信を持つてもらい、生活機能の維持向上を身につけていくような事業である。



山内 政徳

残波岬に向かう村道残波線の左側の雑草除去について(瀬名波通信施設)大変ひどい状況になっているが当局の考えを伺う

答 11月の末時点で503件1,139万6,000円の実績である。

問 毎年質問があるたび刈るような状況では困ると思うので、有効利用して花を植えて意識づけをして、みんなできれいな環境づくりをできるような雰囲気づくりは庁内でも検討していきたい。

村内の外灯。公共施設等のLED化についての進捗状況

答 防犯灯の一括交付金の活用については、まだ調整中であり、時期についても決まっていな。公共施設に

ついては、幾つかの施設でLED化、もしくは一部のLED化を図っているところである。

旧読中跡地についての進捗状況は

答 インフラ整備をどの程度まで民間施工の範囲に盛り込めるかなどの調整を行



つている。その後用途地域の見直しや地区計画の策定に向け、手続きを行っていく。



現在残土の置き場となっている旧読中跡地

本郵便経営管理本部総務人
事部店舗担当専門役と両自治会長が面談を行った。また村長宛の要請書も提出されておりその要請を受け6月13日読谷郵便局へ要請、7月5日には日本郵便株式会社社長に要請、東京本社より郵便・物流施設担当部長以下数名が現場視察、総務部長と担当課長、両自治会長も同席し地域の声を述べていただいた。また先月15日には、村長が東京の日本郵便本社を訪問し、読谷郵便局周辺の交通状況を説明した。集配施設について分離していくという手法があるということを提案を受けている。

読谷郵便局駐車場前の車両の混雑について、その後の進捗状況はどうなっているか

答 波平、高志保両自治会長の連名で読谷郵便局に対して要請書が提出され、日



上地利枝子

子どもの貧困対策について

定はないが、もし読谷村内で食事の提供をしたいとの要望があれば子ども貧困対策事業の補助金等々も考慮してもいいのかなと考えている。

問 日常生活の支援、特に放課後の過ごし方について

問 学習支援について、地域の学習塾と提携して経済的に厳しい子ども達を支援する考えはないか

答 子ども達が安心して過ごせる居場所、宿題、夕食の準備をし、ご飯を一緒に食べ、入浴、歯磨きなど基本的な生活習慣を身につける支援を行っている。(子どもの居場所支援事業)

答 沖縄県の子育て総合支援モデル事業と提携して、準要保護世帯を対象に「無料学習支援塾」を開催しているが地域の学習塾と提携できるか調査し、検討していきたい。

問 子ども食堂を実施する予定はないか

答 今のところ実施する予



保育サービスの拡充を

防災訓練について

問 自主防災組織の今後の展開は

答 今、5つの自主防災組織が活動しているが、今後行政事務連絡会などに呼びかけ、できるだけ早く全地域につくられたらいいと考えている。

地域のマチヤグラー支援について

問 地域のコミュニティの場であったマチヤグラーが減少し、買い物難民が増えていると思うが行政としてどのように認識しているか

認可外保育施設の現状と課題、今後の方針について

答 買い物弱者が存在することについては認識している。今後「買い物弱者応援マニュアル」などを参考に、関連する庁内部署や各種団体等と連携し、対策を講じる必要があると考えている。マチヤグラーの支援については、地域のコミュニティの場でもあることから商工会と連携をしてビジネスとして成り立っていく部分等々考えていきたいらと思つているが補助制度については、まだ把握してない。今後検討させてほしい。

問 保育サービスについては、公立、認可、認可外どこに預けても同じサービスが受けられる環境整備が重要だと思つて今後どのように考えているか

答 今、認可外、認可、公立保育園というような種別で問われていますが0歳から就学前まで幼稚園も含めて、総合的に子育ての環境をどうつくるかということは今、検討中であるのでできたら

みらい児童館における“南風の会”の取り組み！

二〇一七年とり年があけて間もない一月二十一日(土)、古堅南小学校となりである「みらい児童館」は、多くの子ども達の笑顔と楽しいリズムで満ちていた。今日はパーカッション&ピアノユニット「まりずむん」のコンサートが開かれているのである。童謡やフテン音楽などマリリンバや打楽器の多彩なリズムに乗せて音楽を聞かせてくれるプロ集団である。入場無料という事もあってか、会場内は多くの子ども達や保護者が詰めかけにぎわった。

このような素晴らしいコンサートを主催した「夢つなぐ・南風の会」の会長、比嘉恵子さんと副会長の池原直子さん、松田恵子さんにお話を伺った。

まずは、会の設立理由に関して、とても活発であった校区内での子ども会活動が年々衰退、今ではほとんどで組織的な活動がみられなくなっている。それにもない婦人会や青年会などの団体も機能しなくなっている現状に危機感をもった皆さんが、平成27年みらい児童館が設立されたのを機に、そこを拠点とした会をつくろうと活動するのうを思いついたとのことである。

その会の名称をボランティア団体「南風の会」とした。同会の規約によると設立の目的を、会員相互の親睦、古堅南小学校区の児童生徒及び保護者、地域児童育成者間の絆を深くするとしている。

結成して日も浅いが、村の「ノーベル平和賞を夢見る村民基金助成事業」で見事に採択され、これまでに劇団たんぼぼによる「おはなしあいのね」公演、「ニューイヤークンサート」のマリリンバを主としたユニット「まりずむん」の音楽鑑賞会を実施した。2月には民族歌舞



ベトナムの民族楽器「トルン」を演奏する川崎馨子さん



すばらしい演奏と楽しいステージングで魅せた「まりずむん」

団「花ごま」による日本の伝統芸能とのふれあい、3月には「南風バザール」を予定している。今後は、地域における児童の教育をテーマにしたシンポジウムをやりたいと、地域の子どもの育成にかけたい思いを熱く語った。

「私達の会はボランティアの精神で成り立っている。できる時にできる人が、できる限りの事をする。子ども達の幸せを常に願い小さな活動がいつか大勢の人の繋がりになれば幸いに思う。」

りっかりっか読谷村議会

12月定例会での傍聴者は、延べ73名でした。

平成29年3月定例議会は3月2日(木)からの予定です。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス
<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉
 議会事務局 TEL 098-982-9225